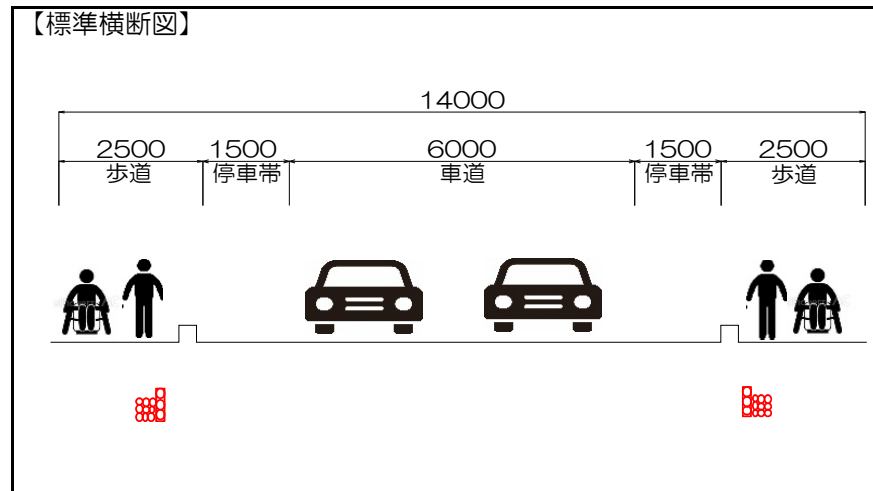
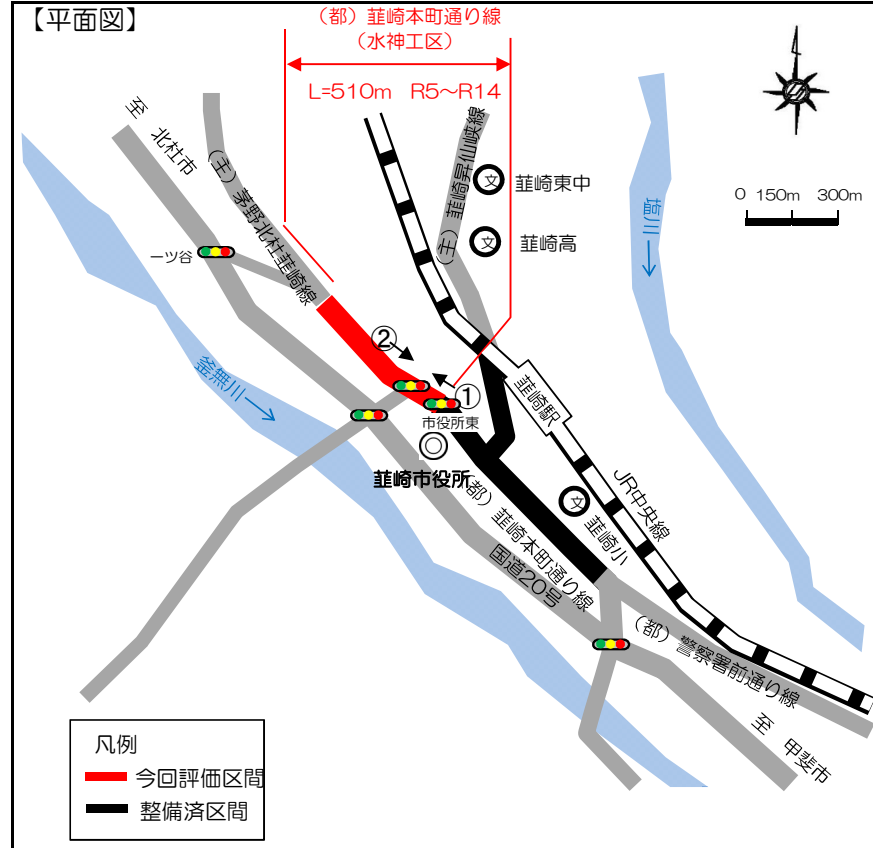


1. 事業説明シート

事業名	街路事業[街路事業費(国補)]	事業箇所	地区名	(都) 葦崎本町通り線	事業主体	山梨県						
<p><b>(1) 事業の概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                      (都) 葦崎本町通り線は、葦崎市本町を起点とし同市一ツ谷を終点とする延長約2kmの葦崎市の主要な道路である。                      本路線は緊急輸送道路に指定されており、防災対策として無電柱化を行うことにより、震災時の輸送路を確保するものである。                      また、沿道は商業施設やオフィス、住宅などで街並みが形成されており、葦崎小学校、葦崎東中学校の通学路になっていることから、安全で快適な道路空間を確保する必要がある。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p>□主要目標 ○都市災害防止                      緊急輸送道路の指定 あり(第二次緊急輸送道路)                      自動車交通量 4,967台/12h(H27センサス) &gt; 3,428台/12h(平日) 以上※                      他事業との連携 あり(整備済み区間に連続する区間) ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保                      歩行者、自転車交通量 493人台/12h(R4実測) &gt; 93人台/12h以上※                      自動車交通量4,967台/12h(H27センサス) &gt; 3,428台/12h(平日) 以上※                      小中学校からの距離 0.8km&lt;概ね1km以内※(葦崎小学校・葦崎東中学校)                      現況の歩道幅員 2.5m&gt;1.4m未滿※ ※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○ライフラインの強化(電線、上下水道、通信回線)                      ○緊急時の避難・救助機能の確保(緊急輸送道路)                      ○被災時の被害波及の防止(緊急輸送道路)</p>		<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b></p> <p><b>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>重要な幹線道路であると共に、第二次緊急輸送道路であることから、社会的受益は大きく、極めて公共性は高い。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>当該路線は、都市計画道路であるとともに県道であることから妥当である。</p> <p><b>③経済妥当性</b>                      電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>現地の状況に即した事業規模であり妥当である。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>現場条件等から採用可能な電線共同溝方式としている。</p> <p><b>⑥環境負荷等への配慮</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>道路内の工事であるため環境への負荷はない。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>第7期無電柱化推進計画において、事業箇所として電線管理者と協議が行われており熟度は高い。</p>		<p><b>総合評価</b> <b>[貢献度ランク：a]</b></p>								
<p><b>(2) 整備内容</b></p> <p><b>①整備内容</b> 電線共同溝 L=510m(両側L=1,020m)</p> <p><b>②着手年度</b> 令和5年度 <b>③完成見込年度</b> 令和14年度</p> <p><b>④総事業費</b> 約500百万円(国費275百万円(5.5/10)県費225百万円(4.5/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容(事業費)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>測量・設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度～令和14年度</td> <td>電線共同溝工事</td> <td>480 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p><b>⑥既整備内容・期間・事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(都) 葦崎本町通り線 L=470m H2~R11 C=約1,340百万円</li> <li>(主) 葦崎昇仙峡線 L=340m H22~R2 C=約410百万円</li> </ul>		令和5年度	測量・設計	20 百万円	令和6年度～令和14年度	電線共同溝工事	480 百万円	<p><b>(4) 事業位置図等</b></p> <p>凡例  <span style="color:red">—</span> 今回評価区間  <span style="color:black">—</span> 整備済区間</p>				
令和5年度	測量・設計	20 百万円										
令和6年度～令和14年度	電線共同溝工事	480 百万円										

## 2. 添付資料シート



【写真①】電柱、電線類の状況



【写真②】電柱、電線類の状況

